

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月11日
明治大学の所属学部・研究科	情報コミュニケーション学部 (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年1月20日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	韓国
留学先大学	西江大学 (日本語名) 서강대학교(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語 /韓国語
留学期間	2023年2月～ 2024年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他: 渡航前にどこの学部にも所属をするのか聞かれましたが、結局所属学部関係なしに授業を受講することができました。
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期: 3月上旬～ 6月下旬 2学期: 9月上旬～12月下旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	約 8000 人
創立年	1960 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	日本円	備考
授業料		円	大学間交換留学のため明治大学に納めている学費のみ
宿舍費	毎月 550,000	約 55,000 円	
食費	毎月 約 250,000	約 25,000 円	シェアハウスでキッチンがほとんど使えず外食やパダルが基本だったので出費が多かった
図書費		約 6,000 円	ほとんど教材は PDF なので紙媒体の教科書はあまり買わなかった。
学用品費		円	
携帯・インターネット費	毎月 36,300	3,630 円	
現地交通費	毎月 約 40,000	4,000 円	大学や練習室等良く通っていた場所が近かったため(練習室も2駅隣り、徒歩40分)あまり交通費はかからなかった。(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	毎月 約 80,000	毎月 約 8,000 円	ダンスをしていたので練習着や衣装代がかかった
医療費	約 20,000	約 2,000 円	病院に行くことはなく薬を薬局で購入した
保険費		129,105 円	形態: 明治大学で入った保険のみ
渡航旅費		約 50,000 円	
ビザ申請費	0	0 円	
雑費		円	
その他	320,000	32,000 円	口座開設に必要なだった(帰国時に口座を取り消した際に戻ってきた)
その他	約 45,000	約 4,500 円	外国人登録証の作成
合計		円	

渡航関連

渡航経路		
往路 出発地:羽田空港	目的地:金浦空港	経由地:
復路 出発地:金浦空港	目的地:羽田空港	経由地:
渡航費用		
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:アジアナ 料金:		
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:		
航空券購入方法		
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:HIS 自宅の近くの店舗で直接往復で予約をした。帰国の日が決まった後に韓国のアジアナに電話をして便を変更した。)		
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)		
<input type="checkbox"/> その他()		
滞在形態関連		
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)		
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Enkor Stay というシェアハウス) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ		
2)部屋の形態		
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)		
3)共有部分		
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)		
4)住居を探した方法:		
大学から送られてきた学生寮の案内のメールに紹介されていた。学生寮は門限があること、1 人部屋がないことが自分の生活と合わないと感じたため、シェアハウスにすることを決めた。公式サイトチャットから相談をして物件を決めた。		
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)		
<p>長所・外国人の留学生を対象にしたサービスなので日本で作ったビザカード等のクレジットカードでの清算が可能である。また、家賃に電気代や水道代、ガス代などが全て含まれているため支払いが楽である。</p> <p>・学生寮に比べると門限等がないので自由が多い。</p> <p>短所・共有スペースがとても汚かった。私はどちらかといえば大雑把で適当なタイプですがそんな私でさえも汚いと感じた。キッチン自体はあって料理もできるが、清潔でもないし匂いもきつかったので、ほとんどキッチンで料理したことはない。</p> <p>・ほとんどが韓国語の話せない英語圏の方が多かった。私は英語が流暢でないためコミュニケーションを取るのが大変だった。</p>		

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

実際に犯罪に巻き込まれたことはないが、滞在中に通り魔事件が連続して起こったり治安が悪化したこともあった。基本的に SNS や周りの韓国人の友達から情報を聞くことが多かった。韓国の治安は基本的に日本と同じぐらいなので、夜遅くに帰宅する時にはタクシーを利用するなどしていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

韓国について翌日に Korea info という会社で SIM カードを契約した。韓国ではほとんどが外国人登録証がないと契約をできないのだが、この会社は外国人向けにパスポートとクレジットカードさえあれば契約することができた。

韓国は日本に比べて公共の場で Wi-Fi がたくさん設置されているためインターネット接続で困ることはあまりなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座は西江大学の中にあるウリ銀行でパスポート、入学許可証(最初のオリエンテーションの時にもらえる)、日本のマイナンバーカードで作ることができた。アプリでの送金等は外国人登録書がないとできななので、外国人登録証を受け取ったその日にもう一度銀行に行って設定してもらった。

基本的に日本のデビットカードから現地で現金を下ろして、その現金を韓国の口座に入金していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

・日本食: 韓国には今日本食屋さんも増えているし価格もそんなに高くないので手軽に食べることができますが、インスタントの味噌汁など簡単に家で食べられる日本食を少し持って行くといいかなと思う。

・薬: 常備薬は当たり前を持って行くべきですし、風邪を引いた時お腹が痛くなった時乗り物酔いをした時など場合に分けてしっかりと準備して行くことが大事だと思う。湿布や目薬なども持っていった。

(私が蚊に刺されたらとても腫れる方で韓国の蚊は特に腫れました、、日本から持っていった虫除けやムヒは全く効かなくて韓国で薬局で教えてもらい購入しました。また韓国の道は凸凹だし車のスピードが速いので乗り物酔いをしやすいです。日本でほとんど酔わない方ですがタクシーに乗るたびに酔いました。)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(英語で進行される授業は一斉にオンラインでの履修登録が可能である。韓国語で進行される授業は初回授業で直接教授に許可を取る形で履修登録をした。断る教授もいるので事前にシラバスに記載のある教授のメールアドレスに連絡をして許可をもらえるのか確認することをお勧めします。) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:履修を許可してくれない教授がいた(理由は様々で人数が多かったり、単純に留学生は受けてはいけないと言われてこともある。)	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한류와 문화산업	韓流と文化産業
科目設置学部・研究科	韓国社会文化専攻
履修期間	春学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	정호대
授業内容	韓流(アイドル、映画、ドラマ)についての歴史やそれらがもたらした社会的現象について説明していく授業
試験・課題など	試験:小テストが 3、4 回ある。基本的に選択式なので難易度は高くない。小テストの結果は成績に反映されるからしっかり準備するべき。 中間、期末テストはエッセイ形式。期限の日までに決められた題材に沿ってエッセイにまとめて提出した。 課題:特になかった。
感想を自由記入	韓流の文化について関心があったため授業の内容も非常に興味深かった。教授も非常に親切な方だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국대중문화의 이해		韓国大衆文化の理解	
科目設置学部・研究科	韓国社会文化専攻		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	이영은		
授業内容			
試験・課題など	試験:小テスト等は無し。 中間、期末テストはエッセイか発表の中で選ぶことができた。ほとんどがエッセイを選択していた印象。 課題:特に無かった。		
感想を自由記入	講義内容も難しくはなかった。テストも課題の題材も難しい内容ではなかったので取り組みやすかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
미디어의 변화와 한국		メディアの変化と韓国	
科目設置学部・研究科	韓国社会文化専攻		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	오지섭		
授業内容	現代の韓国社会の新しいメディアの発達と変化について、伝統的なメディアの時代と現代社会のメディアを比較しながらメディアがもたらす社会的影響について学習する。		
試験・課題など	試験:中間、期末テストは持ち込みありの記述式のテスト。授業でもらったスライドの内容を自分の言葉で説明できるように準備しておくべき。 課題:特に無かった。		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국의 국제관계		韓国の国際関係	
科目設置学部・研究科	韓国社会文化専攻		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	오지섭		
授業内容	国際関係の基本概念と意味、国際関係の理解に含まれた重要な主題について学ぶ。また、韓国と特別な国際関係を持つ国々との関係も同時に学ぶ。		
試験・課題など	試験: 中間、期末テストは持ち込みありの記述式のテスト。自分の言葉で説明できるように準備しておけばいい。 課題: 特に無かった。		
感想を自由記入	講義内容もテストの内容もそこまで難しくはなく、興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국사회변동		韓国社会の変動	
科目設置学部・研究科	韓国社会文化専攻		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	정호대		
授業内容	人口の変化や社会の不平等など、現代社会に取り巻く問題について学ぶ。基本的には韓国の社会問題が中心だが、他国と比較しながら学んだ。		
試験・課題など	試験: 小テストが 3、4 回あった。中間テストは選択形式のテストで期末テストはグループ発表だった。 課題: 特になかった。		
感想を自由記入	期末のグループ発表は自由にグループを組むことができ、日本人の留学生 3 人で日本と韓国の少子化と高齢化について比較した。韓国語で資料を調べて韓国語で発表するのはとても大変だったが、とても良い経験になった。特に発表が終わった後に教授から質問を受けたが、それに対してスムーズに回答することができて、しっかり準備した甲斐があったなと感じた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국전통문화의 이해		韓国伝統文化の理解	
科目設置学部・研究科	韓国社会文化専攻		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	韓国の暮らしや生き方が反映されている韓国文化を正しく理解できるように学ぶ。		
試験・課題など	試験: 中間、期末テストはエッセイの提出か PPT の発表の中から選ぶ。ほとんどの生徒がエッセイを選択しているようだった。 課題: 特になかった。		
感想を自由記入	講義内容もそれほど難しくなく、課題のエッセイも非常に書きやすかった。 (ワードの設定がおかしくなってしまう、教授の名前を記入できなかったのですが、이영은教授の講義を受けました。)		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Korean Language & Culture -Advanced-		韓国語と文化(アドバンス)	
科目設置学部・研究科	グローバル韓国学科		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	신승혜		
授業内容	慣用句や四字熟語などの難しい韓国語を韓国の文化を理解しながら学ぶ。		
試験・課題など	試験: 中間テストは試験だけ、期末テストはスピーチと試験。スピーチは題材は自由、講義で学んで表現を用いて、3-4分ぐらいのスピーチを準備する。 課題: 1 週間~2週間に一度ぐらいのペースでワークブックを解く課題が出る。		
感想を自由記入	講義の名前が英語で表示されているが、韓国語で進行される。(韓国語で進行される授業だがオンラインでの履修登録が可能。私はそれを知らなくて教授に直接メールをしましたが許可していただきました。) TOPIK5~6 級程度の実力があれば無理なく履修できる。テストも教科書とワークブックを見返せば十分である。スピーチもラフな雰囲気各自動画や PPT を自由に用意して発表する形でとても面白かった。教授も非常にフレンドリーな方で、おすすめの講義である。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
커뮤니케이션과사회		コミュニケーション学と社会	
科目設置学部・研究科	知情教育院		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	신의경		
授業内容	コミュニケーションの方式の変化と社会の変化について様々な観点から学ぶ。		
試験・課題など	試験: 中間はテスト、期末はエッセイの提出だった。テストの難易度はなかなか高く、エッセイも題材が難しかった。 課題: 2 回ほど短いレポートの提出があった。		
感想を自由記入	私が受講した講義の中で唯一現地の韓国人の学生と一緒に受けた講義だった。(他の講義は留学生を対象に開講されているもの) 1週間に 1 回グループ討論があり、これがなかなか大変だった。グループ内で討論をし、まとめたものを代表者が発表する形で行った。討論の内容が難しかったのもあるが、同じグループの学生が消極的で討論をするのも発表者を決めるのも大変だった。私も何度か発表をしたが、韓国語ネイティブである学生たちの前で韓国語で発表するのはとても緊張した。 教授はとても親切な方で、課題の評価にも外国語で学ぶことは簡単なことではないのに一生懸命授業に参加してくれて感謝しているとおっしゃってください、この講義をとってよかったなと感じた。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	高校生の時から韓国に交換留学に行きたかったため、日頃から留学関係のイベントなどに参加していた
	4月～7月	TOPIK6級取得を目標に韓国語の勉強を独学で行う(習得後も韓国語の勉強は日頃から行った)
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	IELTS取得のために英語塾に通い始める
	8月～9月	明治大学内選考
	10月～12月	西江大学出願
留学/帰国年	1月～3月	ビザ申請、保険登録、出国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	帰国(1月)

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

幼い頃から韓国の文化に関心があり、高校生の時に一度1ヶ月だけ留学しました。その時は韓国語がほとんどできなくて、もっと韓国語ができれば、韓国語を使って会話することができれば、自分の知っている世界がもっと広がるのではないかと考えました。その時から大学では交換留学を利用して韓国に留学しようと考えていました。ソガン大学に留学した理由は、情報コミュニケーション学部で履修していた韓国語の授業の教授におすすめされたことがきっかけでした。おすすめしていただき、自分でサイトを調べたところ授業の内容が私の関心のある分野と似ていてソガン大学を申請しました。

大学では、本当は現地の学生が聞く講義を一緒に聞きたかったのですが、履修申請がうまくいかず、就学生を対象とした授業を聞くことになったのは少し残念でした。しかし、履修した講義はどれも興味深くとても面白かったです。また、講義を通して留学生の友達を作ることができました。留学に行くと日本人同士で一緒にいない方がいいといった言葉を良く聞きますが、日本人の友達も非常に大切だと考えます。自分と似たような環境にいるからこそできる部分も多く、互いに切磋琢磨することができました。ぜひ留学先で友達を作る時には国籍など関係なく、仲良く過ごすことが留学生生活を豊かにするポイントだと思います。また、HUGという交換留学生を支援する国際交流サークルがあります。頻繁にイベント等を主催しているようですがほとんどが英語圏からの留学生でみなさん英語でコミュニケーションをとるといふ風に聞いて、私は英語が得意ではないので参加しませんでした。しかし友達の紹介でHUGに所属する韓国人の学生と知り合うことになり、一緒にカフェに行ったり親しくなることができとても嬉しかったです。大学内で韓国人の友達を作るのは難しかったです。学期に一度HUGの学生から個人的にメールが来るので、イベントに参加しなくても興味があれば直接メールしてみるのもいいかなと思います。

課外活動としてダンスチームで活動していました。(学校のサークルではなく個人的にオーディションを受けて入りました)正直この留學生生活の半分以上は練習室で過ごしたと言っても過言ではないぐらい一生懸命活動しました。ダンスチームを通してたくさん友達を作ることができました。海外から来た私を暖かく受け入れてくれて、練習がなくても一緒にご飯を食べに行ったりしました。韓国ではチュソクと言って日本でお盆のような期間があり、メンバーはみんな実家に帰るのですが、韓国に実家のない私を誘ってくれて、メンバーと一緒に釜山に遊びに行きました。いつも暖かく情に溢れるメンバーたちの恵まれました。私は学外のチームに所属しましたが、ソガン大学では交換留学生も学内のサークルの所属することができます。課外活動にも積極的に参加することをおすすめします。

ありきたりな言葉ではありますが、もし留学に興味があるのであればぜひ挑戦してほしいと思います。留学をすること海外で生活することは想像以上に難しいことですが、それらの経験を通して自分から行動する癖が付き精神的に強くなれたと思います。また、留學生生活を通して様々な人に出会い、価値観や考え方がとても豊かになったと感じます。韓国で過ごしたこの1年間は一生忘れられない1年になりました。また私は交換留学を志してから、韓国語や韓国の文化、歴史について勉強を深め、またアルバイトも一生懸命しました。韓国で過ごした1年だけでなく、この留学を実現するために努力した時間も全て私にとって非常に良い経験になりました。長くなりましたが少しでも関心があるのであれば行動に移してみてください。